

# 令和4年度 第4回 小中一貫教育校推進委員会報告書

## 1 開催概要

日時：令和5年2月17日（金）18:00～19:30 / 場所：旭丘小学校

## 2 開催内容

- 小中一貫教育校の校名（通称名）の検討について
- 校章・校歌・標準服等の検討について
- メモリアル動画、メモリアル品について
- 今後のスケジュールについて

## 3 当日の主な意見等と区の考え方

### 〔小中一貫教育校の校名（通称名）の検討について〕

- 校名案の決定投票は、旭丘小学校や旭丘中学校のほかに、小竹小学校も対象にして行うのか。
  - ➡ 中学校の学区を基本に小中一貫教育校の検討を行うため、小竹小学校も含めた関係者の皆さまからも校名案を募集したいと考えています。
- 旭丘小学校と小竹小学校の児童数に差があるため、票数の差にも影響が生じることを考えなければならない。
  - ➡ 大きい母数を持っているグループの票がそのまま数の違いになってしまうことについては、検討が必要だと考えています。
- 決定投票で、最高得票数を得た校名案が決定になるのではないか。
  - ➡ 校名案の募集は、色々なアイデアをいただくものです。様々な校名案の中から、推進委員会で2つか3つに絞り込んだ後に、投票というプロセスに進めていきたいと考えています。
- 校名を決める際には、公募や投票といった過程を経る必要があるなど、教育委員会での決まりがあるのか。
  - ➡ 新校名を決めるときの過程は、規則に定められているものではありません。

- 校名案の募集を小竹小学校の児童・保護者まで広げると、統廃合ありきなのではと色々な憶測や不満が出てくる。校名案を募集するときは混乱を招かないよう十分に配慮した上で案内をすべきである。
  - ➡ 小竹小学校の児童・保護者の皆さまには、現状決まっていることや、校名案の公募についての意図を正しく理解していただけるよう十分に配慮していきます。
- 通称名はどういったものなのか。
  - ➡ 通称名は、学校としての正式な名称ではありません。卒業を例にすると、卒業証書は、旭丘小学校、旭丘中学校とそれぞれの名前が入ったものになります。通称名は、学校の入口に掲げる看板などで使うといったことがあります。
- 通称名は変更できるのか。
  - ➡ 通称名が変わることが絶対にはいえませんが、その名前に基づいて校歌や校章を作るので、頻繁に変えるようなものではないと考えています。
- 校名の仮決定とは何を意味するのか。
  - ➡ 最終的には教育委員会の権限と責任において校名を決めます。その手続きがあるため、仮という言葉を使っています。
- 旭丘中学校という中学校名は残るとのことだが、新校が建ったときには1年目という形で考えるのか。
  - ➡ 大泉桜学園の場合、周年行事等々で、新しい小中一貫教育校となったところで、1年目としてやっています。
- 横文字の校名案が公募で出てきた場合、どうするのか。
  - ➡ 横文字では駄目だというものもありません。校名案募集においては、制限を設けず、広く自由な発想を募集したいと考えています。

#### 【委員長のまとめ】

- 校名の決定方法は、地域の皆さまから広く自由な発想に基づいた校名案を公募し、その中から推進委員会で絞り込みを行う形とします。推進委員会で校名案の絞り込みした後のことは、後日改めて精査していきます。

#### 【校章・校歌・標準服等の検討について】

- 部会を設置する場合、部会長は誰になるのか。
  - ➡ 今の段階で決めていません。
- 部会の候補メンバーの中に、日藝や武蔵野音大の学生も含めたほうが良いと思う。
  - ➡ 部会の構成メンバーは未定ですが、部会を設置する方向で検討していきます。